※この科目では対面授業が適宜実施されます。詳細は担当教員にご確認ください。

授業科目名： **事業計画演習（熊沢） 【2022 春学期開講分】**
科目区分： 演習（発展）
必修・選択の別： 必修
配当年次： 2 年次
単位数： 4 単位（学習期間 2 学期）
担当教員： 熊沢 拓
副担当教員： -
オフィスアワー（授業相談の受付）：
eラーニングサイトおよびメールでの質疑応答を受け付けています。
（メールアドレスは大学院グループウェアのアドレス帳でご確認ください）

**1．授業の概要**

受講生が実際に起業を行うもしくは所属する企業において新規事業の発案を行うことを想定し、実社会にて通用する事業計画書を作成する。またその作業を通じて、アントレプレナーシップにおける様々なスキルを身に着ける。（※営利非営利は問わない。）計画の実施に必要な収支計画・資金調達計画なども設計を行い、中間および最終報告会において、教員および学外専門家からの評価・指導を頂く。

なお、所属する企業において新規事業の発案を行うことを選択する場合、「新規事業」は次のように定義する。

・多角化（新規市場×新規製品）：新規事業に該当
・新商品開発（既存市場×新規製品）：新規事業に該当
・新市場開拓（新規市場×既存製品）：新規事業に該当（状況により判断）
・市場浸透（既存市場×既存製品）：新規事業に該当しない

**2．学習目標**

当大学院 MBA コースの集大成として、他の各授業で習得した知識や方法論も用いながら、事業計画を立案できるようになること。またその事業の実現性について、精査・検証・強化をしていけるようになること。

**3．当ゼミの特色**

・担当の熊沢はベンチャー投資の経験 15 年、社会起業家支援の経験が約 10 年あり、当ゼミでは、私のこれまでの経験を活かして、社会課題の解決を目指すビジネスモデルの構築を目指す方を対象として指導を行います。
・企業内の新規事業でも、起業でもどちらでも大丈夫です。
・現在、日本でもインパクト投資市場が盛り上がりつつあり、ビジネスプランを元に、実際にインパクト投資家から資金調達を目指したいです。インパクト投資家を招待したピッチコンテスト等も企画します。
・当ゼミでは、ビジネスプランを頭の中の机上の空論で考えるだけでなく、ターゲットとする顧客（受益者）の行動を観察したり、試作品プロトタイプを作ったり、実験を行って洞察を得る、実験的アプローチ、デザイン・シンキングを推奨します。

**4．求める受講者**

・実際に、社会課題の解決をテーマにしたビジネスを起こしたいと考える人が対象。企業内の新規事業でも、起業でもどちらでも大丈夫です。

**5．授業計画**

1.オリエンテーション

※この科目では対面授業が適宜実施されます。詳細は担当教員にご確認ください。

2.社会課題の解決をテーマとしたビジネスの実例の紹介
3.社会課題の解決をテーマとしたビジネスモデル構築の方法論
4~15.ビジネスモデル構築戦略(相互ディスカッション)
16.中間報告
17.中間報告での質疑の反映
18.資金調達戦略
19~31. 事業計画書全体の見直し(相互ディスカッション)
32. 最終報告

**6．受講上の留意点**

各ゼミで提示されるスケジュールに沿ってご受講ください。
※中間報告を行わなかった場合、授業の後半課程に進むことはできません。翌学期に改めて中間報告を行って頂きます。
（1 学期留年することになります）
※以下のような場合には教員の判断の下、中間・最終の各報告会への参加を許可しない場合があります。
・最低限の形式基準を満たさない
・教員の指導や助言を受けての改善がみられない
・直前での無許可のテーマ変更
等

**7．成績評価基準**

平常点（40%）＋中間報告（10%）＋最終報告（50%）

最終報告の評価項目は以下のとおり

| | | |
|---|---|---|
| 1 | ビジョン／理念／志 | 10% |
| 2 | ビジネスモデル・収益性 | 10% |
| 3 | 市場性・スケーラビリティ | 10% |
| 4 | 競争優位性 | 10% |
| 5 | 裏づけ調査による根拠 | 10% |
| 6 | 必須要素の網羅と完成レベル | 50% |

※この科目は、以下の資料を期日厳守で提出頂くことが必須となります。
・プレゼン資料（Power point）
・事業計画書（Word）
・Before＆After 表

**8．必読書籍・参考書籍**

参考書籍
・「はじめの一歩を踏み出そう―成功する人たちの起業術 」（マイケル・E. ガーバー著、原田 喜浩 (翻訳)）
・「ソーシャル・ビジネス革命―世界の課題を解決する新たな経済システム」（ムハマド ユヌス (著), 千葉 敏生 (翻訳)）
・「ザグを探せ! 最強のブランドをつくるために」（マーティ・ニューマイヤー (著),千葉 敏生 (翻訳)）
・「6 つの帽子思考法」（エドワード・デ ボーノ (著),川本 英明 (翻訳)）

※この科目では対面授業が適宜実施されます。詳細は担当教員にご確認ください。

**９．その他**

「事業計画演習」は年間で４単位となるため、【春・秋】もしくは【秋・春】 の履修登録の際には、それぞれ２単位（１科目）として扱います。後半学期の履修登録の際には、既に２単位を登録済み（履修中）と考えますので、履修できる単位数は、11 単位までとなります。